

平成20年9月22日

各位

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大見 和敏
 (コード番号 1717 ジャスダック)
 問合せ先 取締役経営企画部長 大島和男
 (TEL . 03 - 5211 - 0066)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想(非連結)の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,810	170	170	98	円.銭 7.96
今回発表予想(B)	4,000	360	360	210	17.41
増減額(B-A)	1,190	190	190	112	-
増減率(%)	42.3	111.8	111.8	114.3	-
(ご参考)前年第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,258	63	75	44	3.54

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績は、売上高について、10月の計上を見込んでいた複数の大型の案件が順調な業務遂行により9月計上となることで約800百万円増、アットリスクCM方式(注1)を採用する請負契約案件の比率が予想よりも高くなったことにより約300百万円増となることから、5月14日公表の当初計画と比べ、売上高は1,190百万円増の4,000百万円(42.3%増)となる見込みとなりました。

一方、人件費その他の経費につきましては、採用コスト低減努力や保険料の計上時期のズレ等により、当初計画比約30百万円減となる見込みです。

これらの結果、営業利益360百万円(当初計画比111.8%増)、経常利益360百万円(当初計画比111.8%増)、四半期純利益210百万円(当初計画比114.3%増)となる見込みです。

尚、通期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)につきましては、上記期ズレ要因と高いアットリスクCM比率は、通期で平準化されることから、5月14日公表の当初計画を修正しておりません。

(注1)

当社の売上高は、ピュアCM方式(売上高=当社フィー)とアットリスクCM方式(売上高=当社フィー+工事コスト)で大きく異なります。どちらも、契約時に顧客との間で当社フィーの

金額を確定するCM方式であることに違いはありませんが、アットリスク方式の場合は、工事コストが売上高に加わるため、その分売上高のみが大きくなります。

(注)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。